

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

○令和3年度 第2回 「健笑庵いくま」運営推進会議

※新型コロナウイルス感染症に配慮して、書面での開催といたしました。

対象事業者名：(有)ケアサポートことぶき「健笑庵いくま」

サービス種類：地域密着型通所介護事業所

開催日：※事業報告書送付日：令和4年1月25日

(当事業所の事業報告書に対し、文書にて質問や意見を頂きました。)

開催場所：—

出席者：9名 ※会議関係者

《内訳》

事業所(担当者)	3名	利用者	1名
利用者家族	1名	地域代表者	2名
松江市職員	0名	包括支援センター	1名
知見を有する者	1名	その他	0名

【議事・議題】

1. 活動等の状況

①通所事業の現状

◆登録者数(令和3年12月現在)：21名(うち男性2名、女性19名)

◆介護度別利用者数(令和3年12月現在)

《サービス区分、介護度別の状況》

総合事業 通所サービス	該当者	1名	地域密着型 通所介護事業	要介護1	9名
	要支援1	2名		要介護2	5名
		(内、緩和型2名)		要介護3	2名
	要支援2	1名		要介護4	0名
(内、緩和型1名)		要介護5		0名	
制度外(実費)利用者	1名	申請中	0名		

◆各月利用数

令和3年 7月	216	令和3年 8月	202
令和3年 9月	205	令和3年 10月	191
令和3年 11月	167	令和3年 12月	178

②活動報告

◆誕生会(誕生日の一番近い利用日に実施)

◆レクリエーション(季節に合わせたものや、要望に応えたもの)

- ・七夕会 ・曜日対抗ゲーム ・敬老会 ・お彼岸 ・コスモス見学
- ・佐太神社参拝 ・忘年会 ・クリスマス会
- ・壁画作成 ・玉入れ、ビンゴゲーム大会

③日曜デイサービス(月1回)

開催年月	活動内容	*参加人数
令和3年 7月	プラ板キーホルダー作り ビンゴゲーム大会	5
8月	うちわ作り 調理活動(冷やし中華)	6
9月	運動会 ビデオ映画鑑賞会	7
10月	玉湯「おもじろ釜」にて温泉卵作りと買物	6
11月	紅葉鑑賞 ホック買い物	6
12月	望年会行事	9

④その他活動

- ・防災訓練(1回/月) ・脳トレ(漢字、計算、都道府県当て、ことわざ等)ドリル
- ・洗濯物(おしぼり、タオル)たたみ ・編み物

2. 相談および苦情受付状況・事故報告（対象期間：令和3年7月～12月）

①〈相談事例〉

- 新型コロナウイルス感染症に関連した問い合わせ。（例：同居家族の県外往来に関わって、利用当日の体調に関してなど）
（対応等）
事前の早めの対応を基本にということで家族様とも情報交換をお願いする。体調面での相談に対しては必要に応じて医療機関に相談することをお願いした。

②〈苦情・事故〉

- 受付及び発生無し

③〈ヒヤリハット対象事例〉

- この期間に事例無し

3. 研修会および勉強会等

①外部研修会：R3.6～7 主任介護支援専門員更新研修

②内部研修会（職員会議、ケース会議含）

実施日	研修会・勉強会内容	参加人数
R3.7.22	いくまケース検討会	3
R3.7.30	職員会議（事例検討会など）	8
R3.8.27	職員会議（介護支援専門員研修報告、事例検討会など）	8
R3.9.27	職員会議（研修「感染症対策について」など）	7
R3.10.22	職員会議（個人情報の取り扱いについて[事例報告]など）	8
R3.10.29	いくまケース検討会	3
R3.11.14	いくまケース検討会	3
R3.11.26	職員会議（コロナ感染対策についてなど）	8
R3.12.10	いくまケース検討会	3
R3.12.20	職員会議（通所部会研修報告、コロナ感染対策についてなど）	7

4. ボランティア受入の状況

- ・受け入れ実績無し。

5. 災害時の対応について

[状況]

令和3年7月4日からの記録的な大雨により、松江市内では土砂災害や川の増水などの被害が発生する。特に7月7日には未明から強い雨が降り、5時30分に八雲町日吉で警戒レベル5、その他の地域で警戒レベル4が発令される。

[対応]

近年では、予測を超える気象状況の発生により、各地で甚大な災害報告が聞かれることから、送迎を含む通所サービス時の安全確保の視点より、台風や大雨、冬季には大雪などの気象状況からの自然災害あるいは交通障害などの2次的な災害に備え、事前の対応が求められている。その為に事前の気象情報に注視し、送迎時間の変更やサービス時間の短縮、また休止などの対応を可能な限り早いタイミングで本人並びに家族様にお伝えできるように取り組んでいる。この7月7日も前日より状況を注視していたが、予想以上の大雨となり、当日早朝に送迎地域全体に警戒レベル4（避難指示）が発令されたことを受け、そのタイミングで通所サービスの中止を決定し、該当の利用者に午前7時30分のタイミングで電話連絡を行う。当日早朝にも関わらず、前日の打診連絡の効果もあり、大きな混乱もなく該当者全員に連絡が取れた。その後、必要に応じて、本人の安否確認や自宅周辺の災害の有無などの確認を行った。また、電話での確認が不十分な利用者については直接訪問をして情報収集に努めた。また、翌日からのサービス再開に向けて、道路通行止めや交通規制の情報の確認などを行い、併せて、送迎可能な迂回路の確認なども行った。

[課題・問題点]

この度の災害を通じて、独居生活や高齢者世帯などの方にたいして、誰がどのタイミングで、どのような支援を届けられるのか、その中で通所サービスの責任の限界など感じる機会にもなった。またこのことから、本人と介護サービスの範囲を超えた、例えば、地域自治会また友人や知人も含め地域住民の方などとも、必要な連携を図ることが重要である。しかしながら、実際にはプライバシーの問題もあり、通所サービスが主導できる連携の取り方など、困難部分も問題点として感じた。また、防災という視点から個人ができることを意識して、デイサービスで、月一度、取り組んでいる防災訓練にも地域性を取り入れ、マップやイラストを活用しながら個々の問題としての防災意識につながるように工夫が必要である。

6. 新型コロナウイルス感染症予防に関わる取組について（継続）

昨年来より継続した感染予防策をご利用者、そしてご家族様と連携を基本にして、通所介護の提供が途切れることの無いように取り組んでいる。内容的にもまずは事前の体調観察を大前提として、ご自宅でも日常的に健康状況の把握に努めていただき、必要に応じて、ご家族様と連携した対応に努めている。

《今後に向けて》

新型コロナウイルス感染症の問題は長期化となり、予防対策としてのマスクの着用や手指消毒など一部は、慣例的にもなりつつあるが、感染症の現状では変異株の出現などでまだまだ予断の許さない状況である。そのことから当面の間は家族様も含めた、日常的な感染対策の更なる徹底と情報の共有に努めた感染予防に取り組んでいく。

7. 報告に対する質問意見及び要望

〈意見・要望〉

1) 「ご利用状況」について

- ・利用日を楽しみにしています。一日の様子を話してくれます。他者の様子を見ることで自分もしっかりしなければという気持ちが湧くようです。職員の支援が適切であると感じています。[利用者家族]
- ・週2回利用させて頂いています。いろいろな方と交流ができるので楽しみにしています。[利用者]
- ・複数回利用されている方が多く、ご本人も安心して過ごされていると思います。今後もご本人、ご家族の状況によりケアマネジャーと相談しながら調整、対応をお願い致します。[包括支援センター]

2) 「活動報告」について

① 「レクリエーション活動」について

- ・バラエティーに富んだメニューの工夫が感じられます。[地域民生委員]
- ・多様な活動行事に感心します。[地域寿会会長]
- ・いろいろな工夫で活動されており参考になりました。[介護事業所理事長]
- ・家ではテレビを見ていることが多いですが脳トレ、ゲーム、トランプや創作活動等いろいろとやっていただきうれしく思っています。脳や手足の衰えを感じなくなりました。[利用者家族]
- ・コロナ禍で活動に制限があると思いますが引き続き感染防止対策を行いながら活動をお願いします。[包括支援センター]
- ・曜日対抗ゲーム大会など、毎月季節に合ったゲームで楽しんでいる。また歌や脳トレなど皆さんと賑やかに過ごしている。[利用者]

② 「日曜デイサービス」について

- ・コロナ禍で家庭では以前のように外出することは出来なくなりました。日曜デイには喜んで出かけています。[利用者家族]
- ・日曜日は家族と買物に出かけるので参加はしていないが機会があれば参加したい。[利用者]
- ・日曜日のサービスは本人や家族にとっても必要なサービスだと思います。[介護事業所理事長]

③ その他の活動について

- ・利用者本人や家族にとっても必要なサービスになっていると思います。[介護事業所理事長]
- ・自宅では入浴出来ないのので、デイサービスで入浴をさせて貰えるので大変助かっています。[利用者家族]
- ・防災訓練が毎月実地され感心しました。[地域寿会会長]
- ・コロナ感染予防の為、全ての活動が縮小され閉塞感が感じられます。[介護事業所理事長]
- ・入浴時、浴槽の出入りや洗身など身体状況もみてもらえて安心している。[利用者]

3) 相談及び苦情受付状況・事故報告について

- ・ヒヤリハットの事例もあれば報告ください。[包括支援センター]

4) 研修会及び勉強会について

- ・定期的に必要な研修を行っておられると思います。[介護事業所理事長]

5) ボランティア等の受入れについて

- ・コロナ禍もあり困難と推察します。[地域民生委員]

6) 災害時の対応について

- ・デイサービスで月1回の防災訓練が行われ、いろいろと気づくことがある。[利用者]
- ・雪や雨等に対し、的確な対応を今後もよろしくお願いします。[地域民生委員]
- ・ハザードマップで危険箇所に住んでおられる方や独居の方で災害時の対応について不安のある利用者がおられましたら、地域ケア会議等で一緒に検討していきたいと思っておりますのでケアマネジャーや包括支援センターにご相談下さい。[包括支援センター]

7) 新型コロナウイルス感染予防に関わる取組について

- 大変神経を使われ継続する事業です。長丁場の目で取り組んでください。[地域民生委員]
- 適切に対応出来るような取組を行っておられると思う。一施設だけではなく、クラスター発生時の利用者、職員の応援体制も必要かと考えます。[介護事業所理事長]
- 家庭内感染が一番危ないと思うので家族も気を付けています。[利用者家族]
- 引き続き、ご家族と連携しながら感染予防に取り組んでいただけたらと思います。[包括支援センター]
- 来所時も手洗いやうがいに取り組んでいる。[利用者]

〈質問〉

- Q：日曜日の利用者数はどのくらいですか。[地域包括支援センター]
A：定員 10 名に対し、今期は月 5～9 名の参加をいただきました。（※詳細は上記報告欄を参照）
- Q：利用希望者の 1 日体験等の機会はあるのですか。[地域寿会会長]
A：職員配置要件からも体験的に利用できる設定はありません。ただし、本人やご家族の希望に応じて、随時、見学の機会は可能としています。
- Q：利用前にワクチン接種は確認されていますか。[介護事業所理事長]
A：利用者の把握の為、ワクチン接種される、されないの確認しています。
- Q：ヒヤリハットの事例についても報告ください。[包括支援センター]
A：今期間にヒヤリハットに該当する事例はありませんでした。
- Q：同業他社との研修機会などはありますか。[地域寿会会長]
A：年数回、定期的に市内の通所サービス事業所対象の連絡会が行われています。当事業所も加盟団体として積極的に参加しています。近年はコロナ感染症の影響で非対面での研修会形式になっています。
- Q：これから益々、高齢者人口が増えこのような施設が多くできると思いますが、職員人数が多くなるのが予想されます。社会的にも強固な体制になる為には、職員の身分保障や労働組合の確立なども必要かと思いますが、どんな状況になっていますでしょうか。[地域寿会会長]
A：ご指摘のように「介護職」の労働環境や社会的地位についてはまだまだ多くの課題があると感じています。職業として社会的認知が進み、労働環境も改善しつつありますが、処遇面などまだまだ多くの課題があるのも事実です。そこには介護保険など、介護に関する法制度の問題や課題が影響していると思っています。しかしながら、我々、そこに携わるものとして先ず取り組むべきは、やはり質の問題と認識しています。「介護職」という専門職や専門事業所として自覚を持ち、社会的な責任を果たしたうえで地域社会から認められることを念頭に置くべきと考えています。其の上ではじめて必要な要求も可能だと考えています。今後とも我々の活動にご理解とご支援を賜りますようお願い致します。

〈その他の意見、要望〉

- 職員の方の待遇問題が社会問題にされ政府も給料引き上げの為、予算措置をするようですが、求められる水準になるべく早く達したいものです。[地域寿会会長]
- 活動や取組全般に渡り創意工夫が今後も継続されることを念じています。職員の方々の「元気」がすべてに通じることと考えています。[地域民生委員]
- 要望ですが男性用のトイレがあると喜びます。[利用者]

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○